

# セイフティーブロック

## 両手自由！高所昇降作業時の安全性を確保。

鉄骨建方の際、作業員の作業性を損なうことなく万一の墜落事故を防止します。

### 特長

- 従来のロリップとは異なり、車のシートベルトと同じ原理で、ワイヤロープが自由に繰り出され、巻き込まれるため、柔軟な作業性が確保されます。
- 両手を使って昇り降りができるため、作業性、安全性が格段にアップします。
- 単管足場(抱き、ブラケット)の解体作業時にも応用できます。

### 安全使用上のご注意

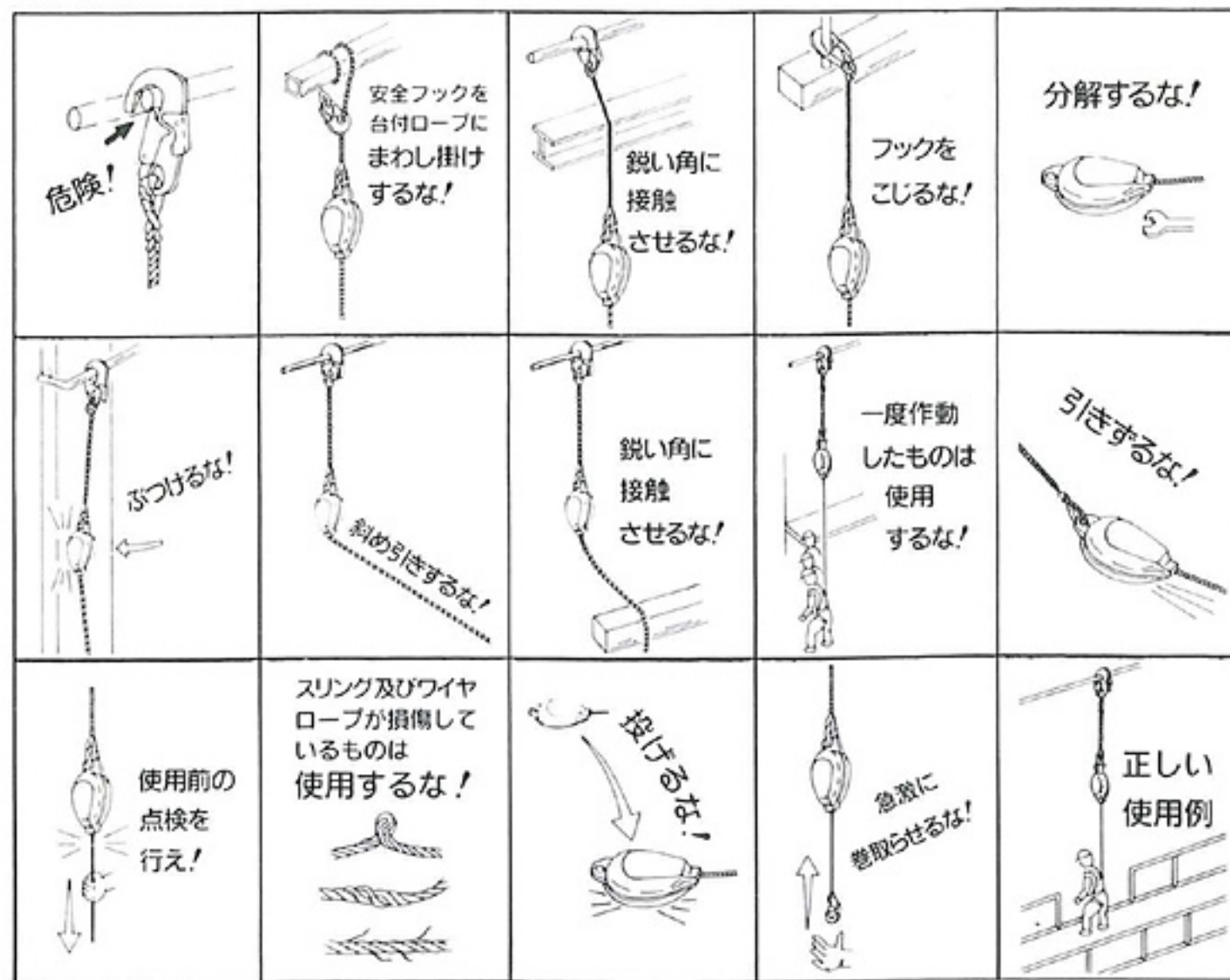
- 取扱説明書を良く読んで十分理解されたうえでご使用ください。
- 検査期限に注意して、期限が過ぎたものはご連絡ください。
- 作業開始前に必ず、所定の方法で安全点検を行ってください。
- 作業開始前の点検で、異常が発見された場合は、絶対に使用しないでください。
- 垂直作業専用としてご使用ください。(横引出しは不可)
- 注意事項を守り、安全フックや台付ロープ、ワイヤロープは正しい使用方法でご使用ください。
- セイフティーブロック運搬時に引きずったり、投げたりしないでください。
- 万一、墜落事故などでセイフティーブロックが作動した場合は、必ず当社の検査を受けてください。  
絶対に再使用しないでください。
- 作業者独自の見解による使用や調整、分解、改造、修理などは、絶対に行わないでください。
- ワイヤロープに異物、ゴミ等が付着している場合は、ウエス等で拭き取ってください。
- ご使用にあたり、間違った使い方をし、万一、事故が発生しても当社は一切の責任を負いません(保険対象外となります)ので、良く注意事項を守って使用してください。



### セイフティーブロックの規格

形式	SB(遠藤工業(株)製)			SA(藤井電工(株)製)			
	SB 10	SB 17	SB 25	SA 10	SA 15	SA 20	SA 25
使用荷重(kg)	80	100	80	120	120	120	120
最大張力(kg)	2.3	4.0	4.0	3.0	4.5	5.0	5.4
使用ロープ(φ)	4	4.76	4	4	4	4	4
揚程(m)	10	17	25	10	15	20	25
自重(kg)	6.5	13.5	13.5	4.8	8.7	8.9	9.0

### 安全にお使いいただくためのご注意



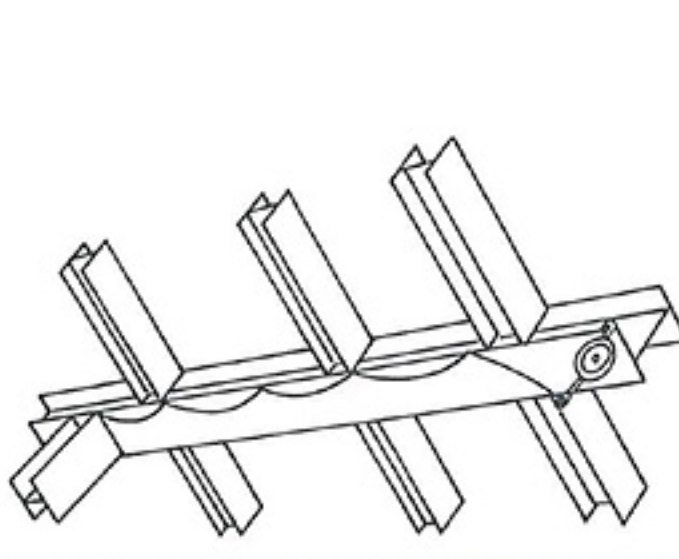
①セイフティーブロックの安全フック部分に、ヒキヨセ(カイシヤク)ロープを接続したあと、作動点検を行います(取扱説明書参照)



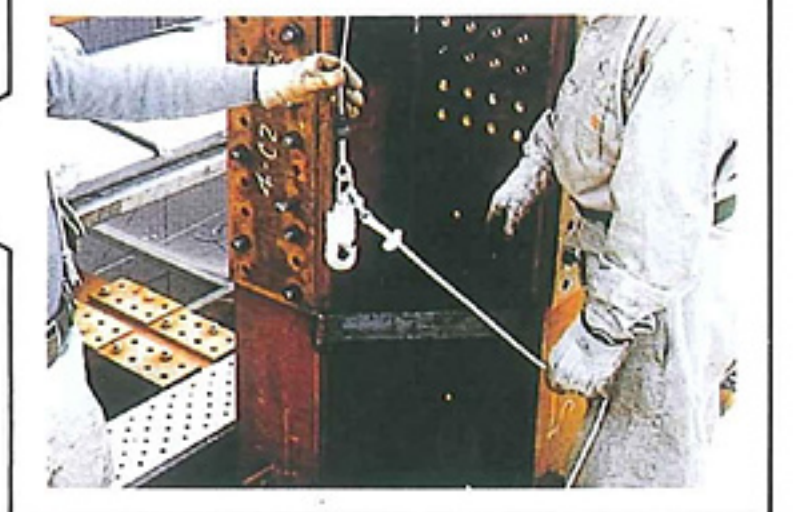
②セイフティーブロックを鉄骨柱の最上部に取り付けます。



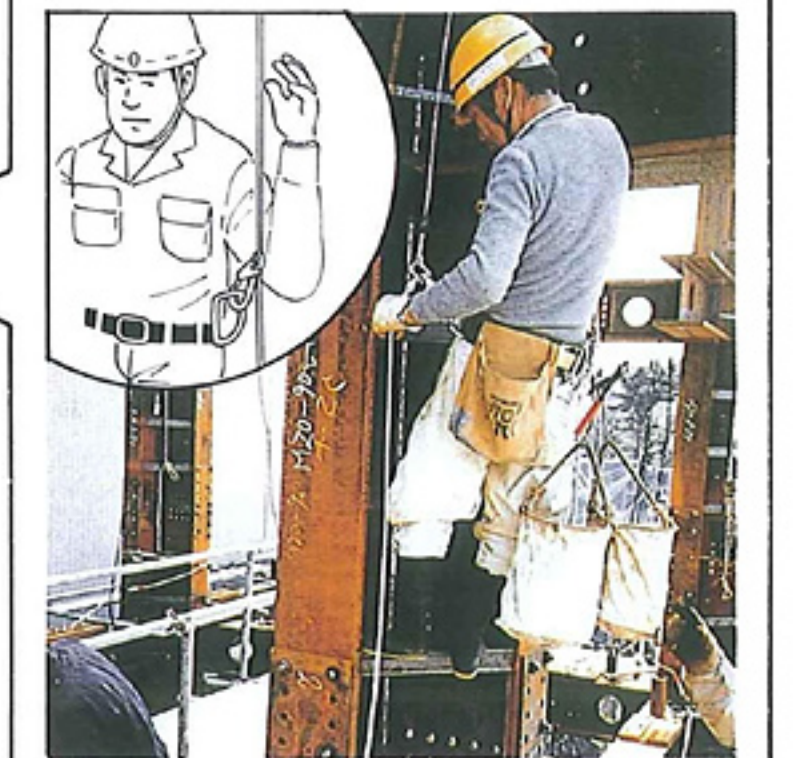
③ヒキヨセロープをあらかじめ鉄骨柱に添わせて伸ばし、その状態で鉄骨柱を立てます。(写真は立てた状態。セイフティーブロックが柱の最上部に見える)



④ヒキヨセロープで安全フックを引き寄せます。



⑤安全フックを安全帯のD管にかけて、ヒキヨセロープを付けたまま鉄骨柱を昇降します。(他の作業者が昇降する際に再度安全フックを引き寄せのため。)



⑥写真は昇降中の状態(安全フックが自動的にセイフティーブロック本体に収納されるので、両手が全く自由な状態で昇降できるのがよく分かります。)

## セイフティーブロックの使用手順